

小頭岳

平成22年12月14日(火)
新合地区振興会
振興会便り
文責:佐々木 元
NO. 15

新春の行事!

- ◎「新合地区元日登山」1月1日(土)6:00 津留神社を集合出発
- ◎「新年祝賀式」1月1日(土)11:00 新合公民館 **どなたでも参加ください。**
- ◎「成人講座」1月2日(日)新合公民館 ◎「町内駅伝大会」1月16日(日)
- ◎「健康体操 毎月第1、第3木曜日」19:30~ **初めての人でも参加OK!です。**

長寿の秘訣

- ◎何でも食べ、好き嫌いが無い。
 - ◎畑の草や家の周りの草取りは一人でする。
 - ◎編み物や縫物をする。(痴呆症防止も考えて)
 - ◎デューサービスには自分で準備して出かける。
 - ◎メガネなしで毎日、新聞を読む
- 吉田 愛子さん(上津留区越ノ河内)95歳に聞きました。**

がんばってます⑧ 上津留区上松中「小川駒男さん」

注連縄づくり60余年!

光陰矢の如し、早いもので師走である。師走と云えば迎春の準備。その中でも「正月飾り」に欠かせないものが注連縄である。注連縄作りの名人、小川駒男さん(77歳)を訪ねた。駒男さんは子どもの頃父親が戦死したので近所のお年寄りから習って家の注連縄作りをしていたという。以来60年以上も注連縄作りを続けておられるベテランである。材料の麦わらはもち米のわらで青くてしなやかなものが良いという。陰の多い田や早めに刈り取ったわらが一番良いとのこと。最適なわらは近所の方が提供してくださると感謝されていた。その上等のわらをすぐては



かまをとって、少し木槌でたたいて柔らかくし、注連縄は左編みで作る。大きい注連縄や鳥居の注連縄作りにはコツもあるという。まず、小さめの3本の縄を右に練って作り、その3本を左からませて練って作る。また、中央が太くなるようにわらを徐々に足して太くし、徐々に減らしていく。こうして出来上がった縄は凸凹がなく、バランスのとれた見事なものである。大きいものは長さ1.8mもあり、毎年大小60本前後作られるという。噂を聞いて昨年は牛深からわざわざ習いに来られた方がいた。今年の秋祭りの鳥居の大注連縄作りにも立ち会われて指導され見事なものが出来上がった。来年もそれぞれの家庭が一層幸せになることを祈りながら、また、お世話になった感謝の念をこめて一心に作られるという。そのため、注連縄の代金は一度も貰ったことがないとのこと。注連縄作りの素晴らしさと共にそれを通しての駒男さんの几帳面さと誠実な人柄、そしてすばらしい人間性に心を打たれた。奥さん(ハツミさん)は出来上がった注連縄を見ながら笑顔で「孫たちにも教えとかんば」と話されるという。四季折々に繰り返される伝統文化・技能が私たちの暮らしに根付き心の交流や生活に彩りを添える。駒男さん夫妻もその一翼を担って日々の生活を営んでおられる。

◎河浦高校を残す会が発足!◎

12月8日、河浦高校を支援する会を発展的に解消し、新たに「河浦高校を残す会」が発足しました。会長に池田裕之さん、副会長に吉田富義さんと松尾良司さんが選出し、熊本県が計画している平成25年~27年度の統廃合に向けて存続できるよう運動していくことになりました。

第二回 ふるさと宅配便

11月18日第2回ふるさと宅配便を発送しました。今回は大1回目より少なかったですが、「まだ残っていて少なくなってから注文する」「大阪で販売して



いる新米よりおいしい。」という便りもいただきました。

■火葬場建設について■

11月8日天草市当局から、新合市ノ瀬地区に建設を予定した火葬場建設を断念し、新たに候補地を探すことが説明されました。

☆津留消防詰所が新しくなります!☆

現在の津留消防詰所の老朽化等により、平成22年度整備事業で新出張所横に移転新築を予定しております。現在の自転車置き場は出張所玄関横に移転予定です。住民の方にはご迷惑をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

主な移転理由・・・築30年を経過し老朽化が進んでいることと現在の土地が借地であるため、市有地移転するため。



津留消防詰所完成予想図

『道路工夫物語』(8)

～俺を殺してから通れ!～

当時十ノ原の赤城橋は木造であった。付近で仕事をしていた時、橋を支えている桁が折れていた。橋の高さは約8mもある。とっさに(びっくりかえったら大変だ!通行中に落ちて怪我したり、死亡したりすることは絶対防ぎたい。)と思って近くの藪を切って橋の入り口に張りめぐらしたり、乗ってきた自転車や持ってきたツルハシなどを並べて通行止めにした。

通行人や車が来て「通らせろ!」「どぎゃんしてくるっと」等々抗議されたが通さなかった。そのうち誰かが通報したのだろう土木事務所や警察・九州産交等々の関係者が集まってきた。

土木事務所長は「通らせろ。」と云う。惣八さんは「安全第一・通らせない!」と言い争いになる。「俺首になったっちゃよか!通らすんなら俺殺してから通らせろ!」と険悪な状態に。しかし、安全第一への強い思いでしゃるがむってん通させんと押し通した。翌日応急処置がなされたが心配だったので赤旗を立てて注意を促したところ、「赤旗はとれ!」「とらん!」でこれでも所長と対立。惣八さんはこのときも頑として譲らなかった。数年後、コンクリートの橋が出来たが、県下でもめずらしいカーブの橋だったので視察者も多かったという。

昭和37年には早々に県知事から「道路管理が優秀」との表彰を受けられている。このことは時には上司と対立してでもやり遂げようという強い意志と責任感、その仕事ぶりの優秀さを上司が感謝と敬意をもった証しでもあろう。

仕事に対する熱い思いや願い・責任感を強く伺わせるお話であった。次回は「みんなに育てられて」を。

～報告～

- ◎「新合地区駅伝大会」11月21日(日) 優勝 上津留B
- ◎「新合小学校フェスタ」11月28日(日)
- ◎「各地区秋祭り」
立原神社11月3日(水) 津留神社11月14日(日)
市ノ瀬神社11月21日(日) 平床神社11月21日(日)
大丸神社12月11日(土)